



そうわ通信 10月号

《学校教育目標》豊かな心もち 自ら考え たくましく生きる子の育成
～学び合い 高め合う なかまづくり～

地域の方への感謝の気持ちをもちながら… サツマイモの収穫【9月26日】

昨年度に続き、今年度も全児童で収穫体験を行うことができ、とてもうれしく思います。思い起こせば一昨年度は、緊急事態宣言が発令されており、やむなく学年ごとの収穫にした記憶があります。まだまだコロナは完全な終息には至っていませんが、写真にあるように、全校で取り組めることって本当に貴重でかけがえのないことであると改めて感じています。

さて、収穫量は今年も大満足でした。サツマイモを傷つけないように、基本的には手で掘り下げていきます。時間はかかりますが、それでも宝物探しをしているかの如く、目をキラキラさせて、みんな夢中でした。「こんなに大きなものがとれたよ」「小さいけれどおいしそう」「抜けないので〇〇ちゃん、手伝って」「やっぱりいもほりはたのしい！」などの言葉が、いろいろなところから聞こえてきました。やっぱり相和小の伝統であるサツマイモの苗植えと収穫は、続けていかなければなりませんね。

21日実施の相和ハッピー祭の午後の部は、「ハッピー焼いも」と名付け、その場で食べたりお土産に持ち帰ったりしています。また、恒例のおもしろい形に育ったサツマイモを「おもしろイモ」とし、環境委員会の5・6年生が、そのイモを活用してイベントを企画中です。

ぜひ当日は、多くの保護者の方々にお越しいただき楽しんでいただければ幸いです。



全校そろってやりきった満足の笑顔！
今年はすべてのイモを写真に収めました



「子育てアラカルト⑳ ～ペップトーク～」

今年は、WBCや各競技のパリオリ・パラ選考、全国高校野球大会、ラグビーワールドカップ、そしてアジア大会など、競技スポーツを数多く観戦する機会がありました。総じて「選手のメンタルが強くなった」と感じるのには私だけではないと思います。国を代表して出場しているというプレッシャーに、過去は押しつぶされる場面を多く見ましたが、現在はそのプレッシャーすら楽しんでいるように見えます。

過日、人権教育研修会に出向き、「ペップトーク」について学んできました。ペップトークとは、
「短くて 分かりやすく 肯定的な言葉を使い 人の魂を揺さぶり その気にさせるトーク」

のことです。今の指導者や選手は、この言葉を的確に活用しているため、好循環が生まれるようです。WBC決勝直前の大谷選手の「僕から一個だけ。憧れるのをやめましょう。～中略～今日一日だけは彼らへの憧れを捨てて、勝つことだけ考えていきましょう。さあ行こう！」の言葉には、相手に対するリスペクト、「勝とう」ではなく「勝つことだけを考える」、奮い立たせる締め言葉など、実は多くのペップトークが詰まっているという話があり、なるほどと思いました。逆に、

「長くて 分かりにくくて マイナスな言葉を使い 人の魂を萎えさせ やる気をなくすこわい説教」は、どれだけ人を委縮させるかは簡単に想像できます。以前のスポーツ界は、こういう指導者が多かったのでは…ということも話題に出ました。「前向きな背中の一押し」について、次回の通信でお伝えします。

前期の振り返りと後期への抱負を胸に

～前期終業式【10月6日】 後期始業式【10月10日】～

前期終業式

プレゼンソフトを使って、この半年間の各学年のお気に入りの写真を提示し、成長を共有する時間を取りました。その後、メジャーリーガーの大谷選手が高校生の時に具体的目標を設定するために作成した「マンガラート」を提示し、なぜ、現在のような選手になったのかを伝えました。

また、夏休み中の取組で表彰を受けた児童の紹介もしました。最後の意見発表は、2年生が担当し、前期の振り返りと後期の抱負を、全校のみんなに堂々と伝えました。すばらしかったです。



今年も実りました！

～4・5年稲刈り【9月25日】～

今年も田んぼ育成会の皆様のご支援をいただき、4・5年生12名が無事稲刈りを終えました。

「鎌を初めて使いました」「思っていた以上に刈るのが大変です」という声も聞かれ、当たり前のように目の前にある白米が、実は当たり前にあるのではないと実感したようです。

育成会の方のお話によれば、この猛暑により、昨年度と比べ、若干実りはよくないとのことでした。とはいえ、しっかりと育てている稲穂もありましたので、期待はできます。「相和の子供たちはよく働くよ！」という育成会の方々の言葉を聞き、次への学びが楽しみになりました。



前期終業式

3つの「あ」とともに、Well-being のキーワードにも含まれる「ありがとう」をテーマに話をしました。学校生活のいろいろな場面で、「ありがとう」の言葉で包まれることを期待し、今後の子供たちの姿を楽しみにしていることを伝えました。

意見発表は、1年生の2名が担当しました。1年生ならではの自身の振り返りと、今後に行われる学校行事を楽しみにしていることを伝えました。この日は、特に「校歌斉唱」がすばらしく、音楽の授業で学んだことをしっかりとアウトプットしていました。



夏の取組が表彰されました

～終業式で紹介【10月6日】～

大井町交通安全ポスターコンクール

- 最優秀賞 3年 西川 創真 さん
- 優秀賞 1年 浅倉 茉侑 さん
- 優秀賞 2年 高橋 奏裕 さん
- 敢闘賞 2年 長谷川 陽向 さん

大井町交通安全標語コンクール

- 最優秀賞 5年 川口 紗奈 さん

大井町子ども絵画展

- 最優秀賞 6年 浅倉 梨玖さん
- 優秀賞 5年 長田 幹太さん
- 優秀賞 4年 迫 泰成さん
- 優秀賞 3年 長田 栄太さん
- 優秀賞 1年 浅倉 茉侑さん

大井・山田のかかし祭り

- ユーモア賞 相和小5年生①
- 努力賞 相和小5年生②
- ユニーク賞 長田 幹太 さん
- 努力賞 内田 捷仁 さん・権仁 さん

ナイス
です



Congratulations !

P T A 環境整備作業に多くの保護者の参加をいただいて…

10月14日に行われた環境整備作業に、例年同様、多くの保護者の方々にご理解・ご協力いただき、本当にありがとうございました。おかげさまをもちまして、グラウンド等の外回りが、とてもきれいになり、子供たちも喜んでいきます。私は、子供たちに「学校の校舎やグラウンドは6年間借りているものであり、きれいに使うのは当たり前のこと」と伝えていきます。だから掃除は一生懸命行うのは当然であり、学びに使う道具等を丁寧に使うのも当然です。本校の児童は、そのことをよく理解しており、その言動は素晴らしいと感じています。

本校が素晴らしいのは、そこに保護者も同じ姿勢で協力してくださることです。これは、本校の絶対的な強みです。これからの未来に入学してくる後輩、そして保護者の方々のためにも、きれいな相和小学校であり続けたいものです。

